

| グループ名 | ユニット名等        | 科 目 名 | 担当教員名 | 対象学年次 | 学期 |
|-------|---------------|-------|-------|-------|----|
| 自己発見  | 2 単位<br>文化を知る | 思想    | 井上 新甫 | 1 年次  | 秋  |

|               |                                                                                                      |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 授業のキーワード      | 天心は人心、人心は天心                                                                                          |
| 授業の概要         | 授業は礼に始まり礼で終わります。礼節を重んずるのは、学問は身心で会得してこと役立つためです。日本の三大思想のうち、儒教は良心の学問・陽明学を中心に、神道は『古事記』を通じて日本人としての心を学びます。 |
| 期待される学習成果（目標） | 人間の根本とは何かを知り、人生に感激と勇気が醸成できます。家族や他人にどう応じ、また国家社会にどう処すべきかを知りましょう。能力の有無に関係なく自己の尊さを知ることができます。             |

## 授 業 展 開

|                                | テーマ       | 内 容                                                |                                                                           | テーマ      | 内 容                                                |
|--------------------------------|-----------|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|----------|----------------------------------------------------|
| 第1講                            | 日本の思想の流れ。 | 神道は日本人の心の故郷、儒教は日本人の学問的故郷です。                        | 第9講                                                                       | 陽明学とは何か⑤ | 日本陽明学の特徴と発展                                        |
| 第2講                            | 儒教とは何か①   | 儒教は孔子に始まります。わが国では江戸時代二百六十年余りの間、最も学ばれた学問です。         | 第10講                                                                      | 神ながらの道①  | 日本固有の思想信仰が神なごらです。また神道ともいいます。神なごらは産霊の信仰です。          |
| 第3講                            | 儒教とは何か②   | 徳を養うのは言葉を慎むにあります。言葉をどれだけ尊ぶかが、人格形成の要領です。            | 第11講                                                                      | 神ながらの道②  | 神なごらは多神教であり、また一神教でもあります。その聖典は『古事記』。                |
| 第4講                            | 儒教とは何か③   | 儒教の根本原理は何か。女性は生命を生み出す大きな徳を持っていることを知ります。            | 第12講                                                                      | 神ながらの道③  | 神なごらは日本人の生活習慣であり文化です。他の宗教とは違い、他を排斥しません。            |
| 第5講                            | 陽明学とは何か①  | 陽明学は儒教の花です。現実にはいかに処するかの実践的学問で、これを事上磨錬といいます。        | 第13講                                                                      | 神ながらの道④  | 神なごらは他宗教を排斥しません。寛容と同化力が特徴。                         |
| 第6講                            | 陽明学とは何か②  | 自己が依って立つ根本とは何か。これを知るか知らないかで、人生、天地の開きが出ます。          | 第14講                                                                      | 神ながらの道⑤  | 日本人と敷島の道。                                          |
| 第7講                            | 陽明学とは何か③  | だれもの心は、天が与えたものだから天心です。人心はすなわち天心。心は無限の天に通ずます。       | 第15講                                                                      | まとめ      | 14回にわたる講義の要点と試験の概要について。                            |
| 第8講                            | 陽明学とは何か④  | 心の優れた働き、知力のことを良知といい、良知こそ是非善悪・正邪を判別する最大な尺度が陽明学の真髄です | 定期試験                                                                      |          | 主要な語句を覚えたか、語句を正しく解釈しているか。全講義を通じての感想文を求めます。教科書等持込可。 |
| 評価方法                           |           | 定期試験。授業に臨む姿勢と出席状況は考慮します。                           |                                                                           |          |                                                    |
| 使用する教科書（必ず購入してください）            |           |                                                    | 参 考 文 献                                                                   |          |                                                    |
| 井上新甫著『王陽明と儒教』致知出版社 必ず購入してください。 |           |                                                    | 井上新甫著『神ながらの道』と『四言教講義・通釈と解説』を希望者には販売します。儒教関係の書物は多数あるので、目についたものから読むとよいでしょう。 |          |                                                    |